

二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス



副校長 宮脇 聡

現在、本校の校舎3階に「医療従事者の皆様 いつも私たちのためにありがとうございます。学校再開に向け私たちも全力でがんばり続けます」と一文字ずつ大きく掲示されているのを御存知ですか。矢川駅の方から歩いてくると、目に飛び込んで来るので気付いた方も多いのではないのでしょうか。これは本校の一人の教員の発案で、臨時休業中に出勤していた数人の教員で一枚ずつ作り貼ったものです。近隣の方から、「感動した、ありがとう」の電話を頂いたり、実際に病院に勤務しておられる方から、心が折れそうな時に目にして大変励まされましたと手紙を頂いたり、報道関係から映像として記録したいとの依頼があったり、大きな反響があります。

新型コロナウイルス感染拡大が始まった頃、中国・武漢市から帰国した方々が2週間もの間、ホテルでの滞在を余儀なくされ、初めは感染を恐れて滞在を反対していた地元の住民が、ホテル前の砂浜に「砂浜アート」や三千本の竹灯籠をともし、滞在者や医療スタッフを励まし、滞在者も砂浜の光景に気づき、スマートフォンの明かりを左右に揺らしてお礼の気持ちを伝えたということがありました。私は住民の方たちは素晴らしいと心の中で拍手をしていました。ただその後も感染が拡大してくると、感染症に対する偏見や差別が出てきて、感染者等に対する誹謗中傷もなくなりません。その一方で、医療従事者に感謝しようという活動が海外で始まり、今では食料品店の従業員、公共交通機関で働く方、運送業や農業従事者、救急隊員、清掃回収員等、コロナウイルス感染の危険と隣り合わせの状態です。私たちの生活や社会を維持することに従事して下さっている多くの方々に感謝の気持ちを表すアクションが世界中で行われています。



この違いは何なのでしょう。善人と悪人の違いではなく、心の在り方の違いではないのでしょうか、とある人が言っていました。人は誰もその心の在り方ひとつで温かい気持ちになったり、暗くなったりします。時に攻撃的になってしまい後悔することも誰にでもあり得ることかもしれません。いつも温かく、明るくというのは難しいのではないかと思います。皆、波があるものです。現在のように先が見通せず、経験したことのない不安定な状況の中では不安になり、時として怒りや恨みをもってしまふことがあるかもしれません。しかしそれを行動に出すか、自分の中で折り合いを付けたり、処理できるかは、自分自身の心の在り方をどうコントロールしマネジメント(管理)するか、それらをできるかにかかってきます。皆さんはどうでしょう。まずは自分の感情がどこにあるのか、自分の心の在り方を認識することが重要です。『考え方を換えれば、世界が変わる』というのは時々生徒に伝えている言葉ですが、望まないことが起こったときそれを恨んだり嘆くのではなく、考え方や見方を変えることができれば心の在り方が変わり、そして心の在り方が変わればまわりの世界までが変わるという意味です。

本校の掲示を発案した教員は、「感謝の気持ちを表し、自分たちもがんばらなくてはと自分自身に活を入れ、同時に休業中の生徒たちを励ましたかった。」とのこと。この想いを多くの方に受け取って頂けると嬉しいです。生徒の皆さん、是非自分の心の在り方を上手にコントロールしマネジメントして、前向きな気持ちで過ごし、学校再開の時には笑顔で会いましょう。学校再開に向け私たちも全力でがんばり続けます。

お知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が延長され、臨時休業も延長されました。それに伴い、学校行事が以下のように変更となります。(5月15日現在時点)

*今後の社会情勢により他の行事も変更・延期・中止があり得ます。

- 保護者会：1学期中に1度開催、日時は追って連絡します。
- PTA 総会：紙面により行います。
- 運動会：縮小しての実施を考えていましたが、臨時休業が延長となり、日程確保等の関係で今年度は中止とします。
- 水泳活動：今年度は中止（国立市全校共通）
- 3学年修学旅行：令和2年7月19日（日）～21日（火）に変更